

ESA に関する FAQ : AsyncOS は SNMP モニタリングをサポートしていますか。

内容

[概要](#)

[AsyncOS は SNMP モニタリングをサポートしていますか。](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、どの Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップが AsyncOS でサポートされるのか説明します。

AsyncOS は SNMP モニタリングをサポートしていますか。

Cisco AsyncOSオペレーティングシステムは、SNMPによるシステムステータスマニタリングをサポートします。AsyncOSは、SNMPv1、v2、およびv3をサポートします。

これには、シスコのエンタープライズ管理情報ベース(MIB)、ASYNCOS-MAIL-MIBが含まれます。ASYNCOS-MAIL-MIBは、管理者がシステムの健全性をより適切に監視するのに役立ちます。また、このリリースでは、RFC 1213および1907で定義されているMIB-IIの読み取り専用サブセットが実装されています (SNMPの詳細については、RFC 1065、1066、および1067を7を7を7参照)。

注 :

- SNMPはデフォルトでオフになっています。
- SNMP SET操作 (設定) は実装されていません。
- このサービスを有効にするには、SNMPv3とパスワード認証およびDES暗号化の使用が必須です。 (SNMPv3の詳細については、RFC 2571 ~ 2575を参照してください)。SNMPシステムステータスマニタリングを有効にするには、少なくとも8文字のSNMPv3パスワードを設定する必要があります。SNMPv3パスワードを初めて入力する場合は、再入力して確認する必要があります。`snmpconfig`コマンドは、次にコマンドを実行するときこのパスワードを記憶します。
- SNMPv3ユーザ名は次のとおりです。v3get。

```
> snmpwalk -v 3 -l AuthNoPriv -u v3get -a MD5 ironport mail.example.com
```
- SNMPv1またはSNMPv2のみを使用する場合は、コミュニティストリングを設定する必要があります。コミュニティストリングは、デフォルトではpublicに設定されません。
- SNMPv1およびSNMPv2では、SNMP GET要求を受け入れるネットワークを指定する必要があります。

- トラップを使用するには、SNMPマネージャ (AsyncOSには含まれない) が実行され、そのIPアドレスがトラップターゲットとして入力されている必要があります。(ホスト名を使用できますが、使用する場合、トラップはDNSが動作している場合にのみ機能します)。

snmpconfigコマンドを使用して、アプライアンスのSNMPシステムステータスを設定します。インターフェイスの値を選択して設定すると、アプライアンスはSNMPv3 GET要求に応答します。これらのバージョン3要求には、一致するパスワードを含める必要があります。デフォルトでは、バージョン1および2の要求は拒否されます。有効な場合、バージョン1および2の要求には一致するコミュニティ文字列が必要です。

Cisco Systemsは、エンタープライズMIBとStructure of Management Information(SMI)ファイルを提供しています。

- ASYNCOS-MAIL-MIB.txt : シスコアプライアンスのエンタープライズMIBのSNMPv2互換の説明。
- IRONPORT-SMI.txt:IronPortのSNMP管理製品におけるASYNCOS-MAIL-MIBの役割を定義します。

両方のMIBファイルは、[Cisco E Mail Security Appliance製品のサポートページから入手できます](#)。

ヒント: HP OpenViewをサポートする場合など、両方のファイルを1つの「.my」ファイルにコンパイルする必要があるお客様もいます。これを実現するツールは、www.mg-soft.comから入手[できます](#)。

SNMPの監視の詳細については、『Email User Guide』の「Managing and Monitoring via the CLI」の章を参照してください。

関連情報

- [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)